

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年4月2日 (2010.4.2)

【公開番号】特開2008-200386(P2008-200386A)
 【公開日】平成20年9月4日 (2008.9.4)
 【年通号数】公開・登録公報2008-035
 【出願番号】特願2007-41959(P2007-41959)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 1 C

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月15日 (2010.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下する遊技領域が形成された遊技装置と、
 発射操作に基づいて遊技球を発射する遊技球発射装置と、
 当該遊技球発射装置から発射された遊技球を前記遊技領域に向けて誘導する誘導部と、
 前記遊技球発射装置よりも遊技球の発射方向側に設けられ、前記誘導部を逆流してくる
 遊技球を回収する回収部と、
 前記遊技装置の遊技結果に基づいて遊技球を払い出す払出装置と、
 当該払出装置から払い出された遊技球を貯留する球受け皿と、
 前記払出装置から払い出された遊技球を前記球受け皿に向けて導く皿側通路部と、
 前記回収部にて回収した遊技球を前記球受け皿に向けて導く回収側通路部と
 を備え、
前記球受け皿には、前記回収側通路部の排出口を前記皿側通路部の排出口とは別に設け
 たことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記皿側通路部は前記回収部の下方を通るようにして形成されており、
 さらに、前記皿側通路部を通過する遊技球を検知する満杯検知手段と、当該満杯検知手
 段の検知結果に基づいて前記払出装置による遊技球の払い出しを制限する払出制限手段と
 を備えており、

前記満杯検知手段を、前記皿側通路部における前記回収部の下方領域よりも上流側にて
 遊技球を検知するよう設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技装置が搭載されるベース体と、
 当該ベース体の前側に設けられ、前記遊技装置における遊技を視認可能とする窓パネル
 部と、

前記ベース体に対して前方に回動可能に設けられ、前記窓パネル部及び前記球受け皿を
 有する遊技機前面体と
 を備え、

当該遊技機前面体に前記回収側通路部を設けたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載

の遊技機。